



地域構想学科で できること！

学科の目標

Target of a Department

「地域」という現場から問題をとらえ、「地域」を総合的にとらえる視点をやしな
「よりよい地域」の創造に貢献できる問題解決能力を習得します。

地域構想学科では、地域という現場で学び考え、広い視野から地域を見る姿勢を身につけます。地域の問題を深く分析する力を獲得し、地域の問題の
背景には様々な要因が複雑に関連していることを理解していきます。グローバルな視点を持って、よりよい地域をつくる人材を育てることが教育目標です。

3つの領域

Three Domains

「よりよい地域」を探究するために3つの領域を学びます。

「人と自然」領域

人と自然の共存、環境、自然条件を活かした土地利用と災害への備え、生活文化など、地域と
自然の関わりを学びます。

「健康と福祉」領域

住民の健康づくり、プロスポーツと地域の結びつき、福祉政策の課題や方向性、高齢者にやさ
しい街づくりなど、地域を支える健康・福祉のあり方を学びます。

「社会と産業」領域

沿岸のまちや農村、商店街やまちの産業に目を向け、地域の特性とそこで暮らす人々の関係に
ついて学びます。



学科の特徴

The Feature of the Department

●地域の「現場」での 多彩なフィールドワーク

学内の講義や演習だけでなく、学外での見学や調査活動が
豊富に用意されています。実際に地域で活躍している方が
講師を務める講義も多彩にあります。

●少人数授業による実践力の育成

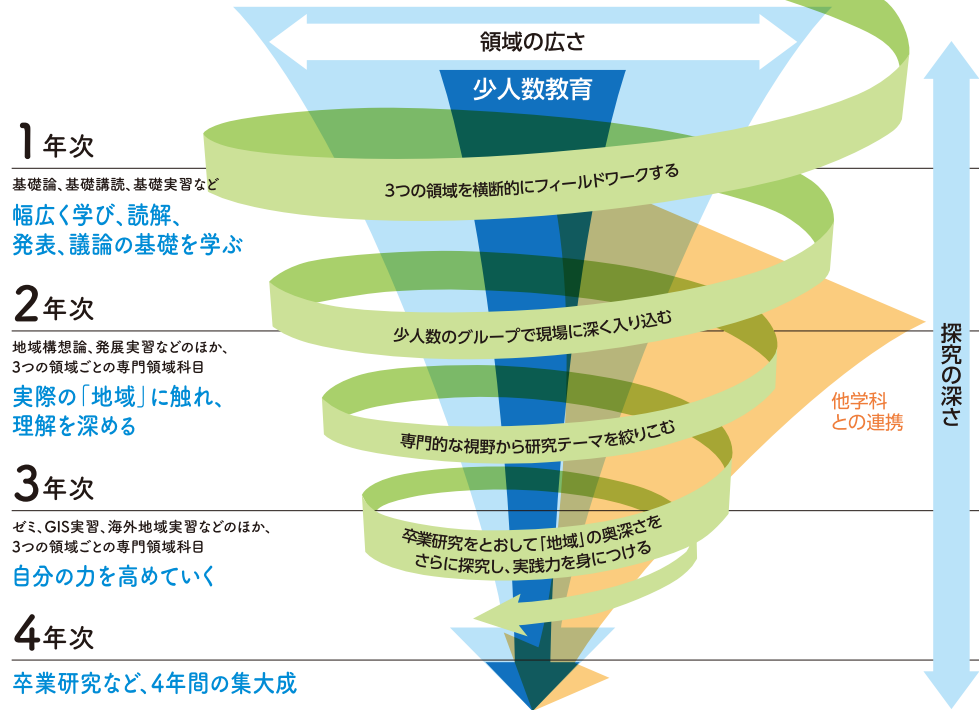
実習やゼミはすべて10名程度の少人数。チームを組みなが
らの活動を数多く経験します。先生や仲間とともに現場で汗
を流し、議論を深めながら、実践的な問題発見と解決能力を身
につけます。

●教養学部他学科との連携

人間科学科、言語文化学科、情報科学科の3学科からそれぞ
れ提供される授業で、より多様な視点を育むことができます。人間の
多面性をふまえた地域づくり、コンピュータを駆使した地域情
報の分析、地域文化の違いに配慮した環境保護活動など、教
養学部全体を活かして自身の探究の幅を拡大できます。

●最初は「広く」、 最後は「深く」学ぶ4年間

はじめに3つの領域（「人と自然」「健康と福祉」「社会と産
業」）をトータルに学び、その後、各自がもっとも関心を持った
分野の勉強を深めていきます。



地域構想学科での4年間の学び

LEARNING

未来を拓く 卒業後の進路

一般企業や官公庁、NPOなど、進路は実に多彩。

地域構想学科では「フィールド（現場）」と「キャンパス（大学）」という二つの学舎で、「知識」や「技術」は元より、「人」や「地域」を見る目、「コミュニ
ケーション力」「企画・構想力」を身につけていきます。社会の問題を解決していくことに役立つこの力は、実務の世界でも当然高く評価されています。
学生は、一般企業は元より、公務員、進学、福祉関係・スポーツ関係・環境関係の専門家、NPOなどの社会活動など実に多様な進路を希望していま
す。また、卒業後も地域活動や社会貢献活動に継続して関わる人が多いのも特徴です。

就職企業一覧（直近3年間の主な就職先）

【建設業】 阿部建設、セキスイハイム東北、東北ミサワホーム、
三井ホーム、ユアテック

【製造業】 アイシン高丘東北、鐘崎、河北新報社、サイネックス、
プレスアート、文化シヤッター、ユーメディア、LIXIL

【運輸・通信業】 アイベックスエアラインズ、エイチ・アイ・エス、
JR東日本、JR北海道、JTB東北、日本通運、
日本郵便、ヤマト運輸

【卸売業】 オンワード樫山、カメイ、キリンビールマーケティング、
高速、恒和薬品、小松物産、トヨタ部品宮城共販、
南東北クボタ、リコージャパン

【小売業】 JR東日本東北総合サービス、セブン・イレブン・ジャパン、
ニトリ、藤崎、みやぎ生活協同組合、宮城トヨタ自動車、
ヨークベニマル、ローソン

【金融機関】 あいおいニッセイ同和損害保険、青森銀行、秋田銀行、
岩手銀行、かんぽ生命保険、北日本銀行、きらやか銀行、
七十七銀行、仙台銀行、全国共済農業協連、
損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、
東洋証券、みずほ銀行、三井住友海上火災保険、
杜の都信用金庫、山形銀行、ゆうちょ銀行

【サービス・非営利】 青森朝日放送、一の坊、NTTデータ東北、清月記、
セコム、全国健康保険協会、
仙台市医療センター、大和リース、東北学院、
星野リゾートマネジメント、
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ

【公務員】 地方公務員（警視庁、宮城県警察官、盛岡市、仙台市、
多賀城市、秋田市、宮城県学校事務）

【教員】 宮城県教員（中学校）、宮城県私立学校教員（高校）、
岩手県教員（高校）

【進学】 同志社大学大学院、東北学院大学大学院、
東北大学大学院



地域活動や
社会貢献活動に継続
して関わる人が多いのが
特徴ですよ。

就職実績

地域構想学科の就職実績は、本学のなかでこれまでも高い地位にあります。
多様な実習、少人数指導が、高い社会人基礎力として評価されています。

卒業年	地域構想学科
2018年3月	96.4%

取得できる資格

地域構想学科では、以下の資格が取得できます。

1.教員免許 社会（中学校教諭1種）、地歴・公民（高等学校教諭1種）

2.社会教育主事

3.日本語教員基礎資格（認定）

これらの資格を取得する場合には、それぞれ必要な科目を履修しなければなりません。このほか、地域
調査士、防災士、GIS学術士などの資格も、それぞれの資格認定団体が要請するカリキュラムを受講
することにより、認定や資格の条件を満たすことができます。

卒業生からのメッセージ

MESSAGE

「自然が好き」という気持ちが、自分たちの「地域」への興味を
「地域」を考えるきっかけに。持ちつづけること。



東 聖史
特定非営利活動法人
わたリグリーンバレットプロジェクト 勤務

子どもの頃から自然の中で遊ぶのが大好きだった私は、「何かしら自然に
関する勉強がしたい」という思いで、地域構想学科への入学を決めま
した。3年生のとき、卒業のテーマに選んだのは「小学校の環境教育」でし
た。かつて「野鳥の楽園」と呼ばれた瀧生干瀬をフィールドとした環境教育
に取り組んでいた小学校を対象に、通一団学生ボランティアとして通いな
がら、事例研究と支援教材作成を行いました。その地域に根差した活動に
一学生として喜び込み、子どもたちや先生方、地域の方々と交流できたこ
とは、本当に大きな財産です。私は今、宮城県亘理町にあるNPO法人で、
東日本大震災によって失われた海岸線の再生と持続可能なまちづくり
に取り組んでいます。仕事をしながら感じるのは、「人と自然のかかわりが地
域をつくる」ということ。大学での学びが、ありとあらゆる場面で生かされ
ています。地域構想学科を選んで良かった。私の場合、それに尽きます。



今野 歩武
岩沼市役所農政課 勤務

私は市役所職員として、地元である岩沼市のために
働いています。市役所の業務は多岐に渡り、まちづくり
にはマクロな視点が必要になると実感しています。また、
地域の現状把握のために現場に足を運ぶことも多
く、地域構想学科での幅広い学びやフィールドワーク
の経験が活かされています。大学時代は、スポーツマ
ネジメントに所属し、地域スポーツについて研究しま
した。ゼミ活動を通して、最も興味ある分野を専門的に
学ぶことは大きな自信になります。現在はプラ
イベートの時間を利用して、地域のスポーツ活動に積
極的に励んでいます。これからも、4年間の学びを糧
に、様々な地域活動に取り組んでいきたいと思っています。

地域構想学科



Q1 地域構想学科とは、どのような学科ですか？

answer 「地域」の問題を解決し「地域」の創造に貢献する問題解決力を養う学科です！

今世界では様々な問題が噴出しています。グローバル化のうねりや自然環境問題、少子高齢化など、20世紀を支えてきた社会や環境のシ
ステムの多くが「ゆらぎ」を見せています。この「ゆらぎ」を解決し導く視点こそ「地域」にあると本学科では考えています。「地域」というリアルな現
場を通じて社会や生活を深く理解し、様々な問題を解決できるような多様な知識と技術の習得を目指します。本学科の目標でもある、人々が生き
る「地域」をより良い形で創造できる人材の育成、これは「地域」のみならずグローバル社会での成功においても不可欠なものなのです。

Q2 どんなことに興味を持っている人が向いていますか？

answer 入学前特別な「何か」に興味を持っている必要はありません。

私達の暮らしに関わる地域のもの「全て」が研究対象です！

地域構想学科は、地域に関わる多種多様な領域を学べるのが最大の特徴です。大きなテーマとしては「人と自然」、「健康と福祉」、「社会と産業」という3つを掲げて
いますが、卒業研究のタイトルを見ても分かるように研究内容は非常に多種多様です。地域とは我々の生活の場であり、日常です。何気ない日常に少し目を向けただ
けで、今まで見過ごしていた多くのものが見えてくるといえます。入学する前に具体的な学びのビジョンがなくても、何気ない「気づき」が学びの材料となるのです。

Q3 学外で学ぶことも多いのでしょうか？

answer 学外活動の機会は多め！足を運んだ数だけ行動力と見識が磨かれる！

地域構想学科は学外での見学や調査活動に力を入れており、他学科と比較してもその回数はかなり多いと言えます。実習やゼミでは10名
程度の少人数でチームを組んで調査や議論を展開し、実践的な問題発見と解決能力を身につけます。「現場」での学びを重視することで、「地
域貢献とは何か」をその肌で実感できるのが本学科の魅力です。

Q4 どのような研究ができますか？

answer 研究の大きなテーマは「人と自然」、「健康と福祉」、「社会と産業」の3つ。

「地域」にまつわるテーマからあなたの「知りたい」を見つけてください！

地域構想学科の特徴の一つとして学びの領域が広いことが挙げられます。「人と自然」「健康と福祉」「社会と産業」という大きな枠ではありますが、必ずしも
その枠にこだわる必要はありません。地域構想学科では教養学部他他の3学科である人間科学、言語文化、情報科学と連携をはかり、講義に広がりを持た
せています。研究の第一歩はあなたの「知りたい」から始まります。豊富に用意された講義に触れる中で、あなたの「知りたい」を是非見つけてください。

Q5 どのような力が身につきますか？

answer 我々の「学び」の全てから得られる「問題解決力」です！

地域構想学科で身につけられる最大の能力は「問題解決力」です。本学科はひとりひとりが当事者としてよりよい地域、よりよい生活をめざして活動することが
重要だと考えています。学外活動を通じて地域という「現場」では常に「チームワーク」と「コミュニケーション力」が求められます。「分析力」と「洞察力」、さらには「提
案力」と広い視野も必要です。問題提起から解決までの道筋を立て、そこに向かって努力していけば、自ずと「問題解決力」が身につきます。「現場」というリアルと
向き合うことで、そこから生まれる（緊張感）が自覚や責任感を高め、「地域」に潜む問題をより自分のものとして捉えらるようになります。

問題を広い視点からとらえ、深く分析する力を養い、 地域について現場を学び、考えて、地域づくりを支える人材を育てます

- | | |
|--|---|
| ■理念・目的
グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。 | ■本学科の求める学生像
①十分な基礎学力を有している。
②地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探究・解決しようとする
強い意志を有している。 |
| ■教育目標
①地域という現場で学び考える。
②広い視野から地域を見る姿勢を身につける。
③学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験を持ち、その内容を自らの言葉で表現し
説明することができる。
④本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にいかかわっていくとすると
明確な目的と意欲を有している。 | |

お問い合わせ先

地域構想学科の内容についての質問は

地域構想学科（泉キャンパス）

〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 地域構想合同研究室

TEL&FAX 022-375-3472

東北学院大学入試についての質問は

東北学院大学アドミッションズ・オフィス（土樋キャンパス）

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 TEL 022-264-6455 FAX 022-264-6377

地域構想学科

に関する情報はこちらへ

カリキュラムや教員など、
詳しい情報があります。
是非ご覧ください。



<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/liberalarts/regional/>

東北学院大学 教養学部

地域構想学科
ガイド

地域に学ぶ 社会と産業

沿岸のまちや農村、商店街や
まちの産業に目を向け、
地域の特性とそこで暮らす人々の
関係について学びます。

中山間地域の役割と地域づくり

人口流出に悩む中山間地域。その存在意義はどこにあるのでしょうか。急傾斜地に堂々と築かれてきた棚田、自然エネルギーを生み出すヒマワリ畑、地域で支える共同店、都市の人々が集うクラインガルテン、伝統の養蚕と糸紡ぎの技術……。そこには都市生活では得ることのできない価値があります。それはどんな価値か、繰り返し現地調査をおこなったうえでみんなで議論します。



企業調査から産業地域を考える！

国内外の企業にお邪魔してお話を聞きます。普段使われている携帯部品や、ブランド服、お菓子等が、意外と近いところで作られていることを知って驚くことも多いです。これらを通じて私たちは産業地域を抽出していきます。同時に産業地域内の企業同士の繋がりや課題（後継者不足等）も見えてきます。その結果は産業政策の立案にも役立ちます。



ここがポイント

人口流出や少子高齢化、災害からの復興など地域に関わる課題について、耳にしない日はありません。一方で、私たちは地域が持つ力も日々感じています。このような地域を取り巻く問題や潜在力を読み解くには、実際に地域に入り、人々の話に耳を傾けることが不可欠です。そして、調査や分析には少々のスキルも必要となります。社会と産業領域では、実際にフィールドワークを行うチャンスが数多くあります。その中で、将来、地域の問題に取り組むために必要な視点とスキルを養うことができるでしょう。

地域文化論 担当 遠藤 尚 先生



津波被災地の商業地復興を考える



東日本大震災の津波の襲来により東北地方太平洋側沿岸地域は甚大な被害を受け、未だその復興途上にあります。商業地の復興に関して市役所、商工会議所、大型ショッピングセンター等へのヒアリング、商業施設や街の被害状況の現地調査により地域が抱える課題を学びます。調査結果をGISによるマップ化や統計分析を通して考察し、自分たちの意見を報告書にまとめ、その成果を地域の人々に還元しています。

学生 VOICE

中野 伸

かつて米国とインドに渡航した経験から、現地に出かけて五感を活用しながら地域のことを学ぶ地域構想学科に入学しました。我々は自然を基盤として文化や産業を営みながら生活しており、私は主にそのことを地理学を通して学習しています。1・2年次の実習では、仙台市中心街での調査から地域の維持発展の仕組みについて学びました。3年次のゼミ合宿では、増加する訪日外国人旅行者にインタビューしながら、地域の国際化に関する調査をしました。この夏には海外実習でインド洋スマトラ沖地震被災にあったタイ沿海地域の再生調査に参加します。自然災害多発国であるわが国の防災対策と観光地のあり方を比較検討してみたいと思います。



卒業研究ピックアップ

卒業研究は地域構想学科の学びの集大成。自らが明らかにしたいものを長い時間かけて突き詰めていきます。そのタイトルを見ても、我々の学びの幅の広さ、地域という視点の豊かさを分かって頂けると思います。

自然地理・防災分野

- 洪水常襲地帯に残された防災の知恵ー北上川下流域を例にー
- 宮古島における古津波堆積物と2011年巨大津波の堆積物
- 阿武隈川(南岸)に形成された自然堤防地形と巨大洪水
- マングローブ水域環境下での相互作用による森林形成過程
- 防災教育のための地域資源とその保全にむけてー唐桑地区を対象としてー

生態学・環境教育分野

- GISを用いた砂浜海岸エコトーンと里山の地理・景観情報の統合化と可視化
- 津波を受けた海岸後背湿地における微細地形と自律的な植生再生
- 仙台市新浜地区における「交流を促進する仕組み」づくり
- 里山における竹林の分布と組成 ——関市芦ノ川の事例——

産業地域分野

- 仙台市におけるオタク文化関連店舗の集積とその役割
- 仙台市におけるクリエイティブ産業集積の実態と課題
- 東北地方におけるクラフトビールの人的ネットワーク
- 長湊浦の漁場利用と漁家経営の復興
- 手漕ぎ和紙の保存継承活動の変遷と課題
- 地域における再生可能エネルギーの実態と今後の可能性

地域社会分野

- 郊外型住宅団地における町内会の現状
- 高齢社会における除雪支援の現状
- 被災地支援における公助と自助の区別と連関
- 原発事故によって失われた地域の継承
- 流動的な地域における協調的な防災の必要性

地域福祉分野

- 過疎地域における防災活動の現状と課題
- バリアフリー旅行の実態と受け入れ体制
- 地域通貨はコミュニティ形成に貢献できるか
- 高齢者の地域生活支援における地域住民の役割
- コミュニティFMをつうじた地域活性化の可能性
- 仙台市における待機児童数の変動とその要因

健康スポーツ分野

- リーグにおけるチケット価格に関する分析
- 陸上競技部の集団凝集性と競技力、及び目標設定意識に関する調査
- 高齢者の睡眠と健康について
- ジュニアユース世代における体格とパフォーマンスへの影響について
- 自律神経系機能に対するストレッチボールのストレッチ効果
- 同一強度の中強度有酸素運動下における気分の違い

卒論のタイトルは、
大学・地域構想学科のHPで
ご覧頂けます！

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/liberalarts/regional/research.html>



地域に学ぶ

健康と福祉

住民の健康づくり、プロスポーツと地域の結びつき、福祉政策の課題や方向性、高齢者にやさしい街づくりなど、地域を支える健康・福祉のあり方を学びます。

地域プロスポーツチームとの連携

プロサッカーチームであるベガルタ仙台と連携することで、多様な学習の場の提供を受けています。スポーツを観戦する人々の動機を調査する観戦者行動調査は、ユアテックスタジアムを中心に10年かけて継続して調査をしています。また、泉区の農協や根白石の農家とベガルタ仙台、本学科の学生を中心としたボランティアが協働で農作物の栽培と販売を行うことで、ベガルタ仙台の地域貢献と農家の高齢化による作業問題の解決、学生の学びの場の獲得という「かむりのさとプロジェクト」に行っています。



街のバリアフリーを考える

病気や障害、加齢による運動機能の低下を理由に生活が制限されるのではなく、徒歩や車いす、公共交通機関を利用したスムーズな移動を可能にするまちづくりが求められています。大学の外に飛び出して「物理的バリア」「情報のバリア」「文化的バリア」「心のバリア」の存在を学び、それらのバリアを取りのぞくためのまちづくりの実践を知ること、すべての人にやさしいまちづくりの視点を身につけることができます。



ここがポイント

健康な生活を地域で営むうえでスポーツという文化は欠かせない要素のひとつと我々は考えています。その一方で、地域が抱える課題には、スポーツの実践も含め多くの要因があり、それらを解決することが「よりよい地域づくり」につながると考え、スポーツの現場での学びも含め多様なプログラムを用意して皆さんをお待ちしています。

スポーツマネジメント 担当 天野 和彦 先生



地域福祉の課題解決の実践

青森県郷々沢町域学連携事業に参画し、地域福祉の課題解決活動に取り組んでいます。町内には一人暮らしや高齢者のみの世帯が多く、徒歩圏内で買い物をすることが困難な高齢者も存在することから、学生たちが「高齢者の安否確認を兼ねた御用聞き」のコミュニティビジネスの創設を提言し、3年をかけて町内の買い物バスの運行を実現させました。学生らのアイデアと根気強い研究と努力、行政をはじめとする関係機関との連携が地域の福祉課題解決に結びつきました。



学生 VOICE

梅津 杏奈 ソフィア

私は現在、福祉を学ぶゼミに所属し、特に児童の精神的な虐待に重点を置いて研究を進めています。私は入学当初、社会と産業の分野に興味がありましたが、2年の実習で特別支援学校の生徒との交流する機会を通して福祉に興味を持ちました。1・2年で他の分野についても広く学んだからこそ自分が本当にやりたい事を見つける事ができたと感じています。



授業ピックアップ

人と自然基礎論

人と自然

人間活動によって、地球の温暖化や生物多様性の減少が急速に進み、人類そのものの存続が危ぶまれています。異常気象や海面上昇、食料・医療資源・生態系・伝統文化の消失を防ぐために、私たちは「自らが暮らす地域」で何をなすべきでしょうか？生態学・地理学、環境教育の原理や保全活動を学び、実践につなげます。



地域福祉論

健康と福祉

地域が抱えている福祉のニーズは多様化しています。多様なニーズに応えるためには、フォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源をコーディネートする役割が必要になります。本講義では地域福祉計画をとりあげ、社会福祉に関する法制度やサービスと、市民・非営利組織の活動などをつなぐための方法を学びます。



スポーツマネジメント

健康と福祉

スポーツ経営学の理論を知ることができます。部活動や学校での体育事業、スポーツビジネスとしての民間スポーツ事業、さらには地方公共団体が提供する公的スポーツ事業を対象として、組織を中心に考察します。スポーツマネジメントを理論的に考察し、その実践方法を学びます。



経済地理学

社会と産業

国土開発計画の歴史と内容をふまえて、産業の集積と地域の変容について解説します。グローバルな社会・経済の変化と国内の産業集積の地域的特徴について学びます。さらに第3次産業の成長に伴う都市の発展に触れ、わが国の都市階層の特徴や仙台市と東北地方の諸都市の都市構造と都市機能について学びます。



地域に学ぶ

人と自然

人と自然の共存、環境、自然条件を活かした土地利用と災害への備え、生活文化など、地域と自然の関わりを学びます。

里浜・里地・里山の自然と暮らし

市街地の近郊に、ひっそりとたたずむ里浜・里地・里山。そこには、「土地や水・生物資源の賢い利用」の下で持続してきた生態系や野生動植物が認められます。「どんな生きものが、どういったハビタットで暮らしているのか?」「地域ならではの自然を大切にしながら、安全で、活気あるコミュニティを維持する秘訣とは何か?」・・・生物・環境調査やヒアリングを通して探求します。



マングローブの海外フィールド調査(ベトナム)

海の中で育ち、たくさんの生物に出会えるマングローブはまさに神祕の森です。ただ、最近の都市化などの影響により森が減少し、生態系の破壊のみならず、地域を災害から守る防災機能まで失われてきています。私たちがいかに、自然と共生し持続的な未来を創っていくかを考えることは、私たちの地域の未来を考えることにつながります。人と自然の学習では、世界のマングローブ調査を通じて自然とのかかわり方を学びます。



ここがポイント

自然は、人間に多くの恵みを与えてくれますが、これまでその価値に気づかず多くの自然を破壊してしまいました。また、自然は、時には大きく変動し災害をもたらしますが、現代の開発のあり方は必ずしもそれに対応できているものではありません。現代社会では、自然の存在は忘れられがちですが、人は自然環境と切り離されて存在することはできません。人と自然とのより良い関係について実践的に学んでいきます。

気候学 担当 目代 邦康 先生



自然条件に逆らわない土地利用を考える



私たちが暮らす地面の下には数千年にわたる生活の歴史や大規模な自然災害の爪痕が地層として残されています。仙台近郊に広がる水田地帯でも弥生時代や平安時代に襲来した巨大津波や、古墳時代に発生した大規模洪水、そして遠方の火山噴火の痕跡を掘り出すことができます。過去は将来を映す鏡です。地形図や空中写真と照らし合わせ現場を詳しく調査し、自然条件に逆らわない安全な土地利用を考えてゆきます。

学生 VOICE

齊藤 香菜 香

私は、防災を学ぶゼミに所属しており、「マングローブの防潮林としての効果」について研究しています。大学3年時にはマングローブが生育する沖縄県西表島に行き調査をしてきました。実際に現場に行くことと文献などの文字や数字だけでは得られなかった知識が広がっていました。木の形や大きさ、周りの環境など、目で見て触れて、自分の五感を使うことで深い学びに繋がりました。このように、学校外だけでなく、地域の方々や自然からも学びを得ることができる、学校外での活動「フィールドワーク」が盛んであることが地域構想学科の最大の魅力であると私は感じています。

